

## 第 156 回日本医師会定例代議員会・ 第 157 回日本医師会臨時代議員会



常任理事 涌波 淳子

### 第 156 回日本医師会定例代議員会 次第

日 時：令和 6 年 6 月 22 日（土）  
午前 9 時 30 分  
場 所：日本医師会館  
東京都文京区本駒込 2 丁目 28 番 16 号

1. 開 会
1. 会長挨拶
1. 代議員会議長及び副議長の選定
1. 報 告  
令和 5 年度日本医師会事業報告の件
1. 議 事
  - 第 1 号議案 令和 5 年度日本医師会決算の件
  - 第 2 号議案 日本医師会役員（会長、副会長、常任理事、理事、監事）及び裁定委員選任の件
  - 第 3 号議案 日本医師会役員（会長、副会長、常任理事）選定の件
1. 閉 会

### 第 157 回日本医師会臨時代議員会 次第

日 時：令和 6 年 6 月 23 日（日）  
午前 9 時 30 分  
場 所：日本医師会館  
東京都文京区本駒込 2 丁目 28 番 16 号

1. 開 会
1. 会長挨拶
1. 議 事
  - 第 1 号議案 令和 7 年度日本医師会会費賦課徴収の件
1. 閉 会

令和 6 年 6 月 22 日（土）、第 156 回日本医師会定例代議員会が、日本医師会館にて開催された。代議員会議長、副議長の選定に関しては、両方とも定数通りであったため挙手をもって選定がなされ、愛知県の柵木充明先生が議長、副議長には宮城県の佐藤和宏先生と選定され、柵木議長からは、「代議員の意見をしっかりと日医の執行部に届けて、日医の働きに寄与したい」と力強い挨拶がなされた。

議事に入る前に、令和 5 年度にご逝去された 1,317 名の物故会員に対しての黙とうがあり、その後、茂松副会長より令和 5 年度事業報告、角田副会長から同決算報告が説明された。第 1 号議案の令和 5 年度決算に関しては、規定により財務委員会が代議員会に先立ち、詳細、厳密に精査し、質疑応答を行った上、その報告を代議員会に行う事となっており、財務委員長に選定された東京都医師会の平川先生からの報告もあり、原案通り承認された。その後、議長より、第 2 号議案、第 3 号議案についての説明があり、役員（会長、副会長、常任理事、理事、監事）及び裁定委員の決定に関しては「選任」とされ、その後、改めて執行役員である会長、副会長、常任理事に関しては「選定」がなされるという事が説明された。

続いて第 2 号議案である日本医師会役員選挙が行われた。まず、会長選挙が松原謙二先生と松本吉郎先生のお二人の候補で行われ、松原謙二候補 38 票 松本吉郎候補 334 票 無効 4、白票 2 で、松本吉郎先生が 2 期目の会長として選任された。その後、副会長 3 名、常任理事 14 名、理事 15 名、監事 3 名、裁定委員 11 名は定数通りの候補者であったため、それぞれ一

括にて選任された。第3号議案は一括にて選定された。

松本会長からは、改めて医療を取り巻く環境は非常に厳しいものがあるが、新執行部の皆で一丸となって乗り越えていきたいと力強く挨拶された。

23日(日)に開催された臨時代議員会では、松本会長から、1期目にあげた「1. 地域から中央へ(1.1 現場との連携と情報収集および分析と情報発信の充実、1.2 地域に根差した医師の活動の推進)」、「2. さらなる信頼を得られる医師会へ(2.1 国民の生命と健康を守り、医師の医療活動を支援、2.2 顔の見える関係の構築と進展)」、「3. 医師の期待に応える医師会へ(3.1 超高齢・人口減少社会へ向けた時代に即した改革、3.2 働き方改革、医療DXの推進や会員の福祉向上)」、「4. 一致団結する強い医師会へ(4.1 組織力のさらなる強化、4.2 災害への備え)」の4つの柱について、2年間の実績をもとに今後の取組みの方向性を説明され、攻めるところは攻め、守るところはしっかりと守るという攻防一体で執行部一丸となって頑張っていくと力強いご挨拶があった。

次に日本医学会門脇孝会長からも日本医学会の役割のご説明とともに松本新執行部に対するエールが送られた。

その後、例年通りの会費徴収案が承認されたのち、各地区からの代表質問18題への回答が各担当常任理事から行われた。特に、第一題目の「在宅医療の将来像」「かかりつけ医機能」「医療DX」等、各常任理事からの説明ののち、フロアからも各地域での課題や今後の対応についての依頼を含め多くの質疑応答がなされた。超高齢社会に向けての医療体制の課題、国の財政上の課題や医療を取り巻く課題等、課題は多岐にわたり、また、一方で都市部と過疎地域など地域による課題も様々となっている現状から、日本医師会新執行部に期待される働きは大きくなっている。都道府県と協力しながら各地区で検討し、その情報から医療制度や診療報酬・介護報酬改定等中央で検討してもらうこと等各県医師会と日本医師会がお互いに意見交換をしながら、しっかりと考えていかないといけないと感じた。2期目に入った松本新執行部はより強固になった一体感の中で各地区からの期待に応えていこうという強い決意も感じられ頼もしく感じた。また、沖縄県医師会も田名会長を始め新しい執行部が役割分担をしながら、俯瞰的な視点で現場の課題に取り組むたい。

## お知らせ

### 会員にかかる弔事に関する医師会への連絡について (お願い)

本会では、会員および会員の親族(配偶者、直系尊属・卑属一親等)が亡くなられた場合は、沖縄県医師会表彰弔慰規則に基づき、弔電、香典および供花を供すると共に、日刊紙に弔慰広告を掲載し弔意を表することになっております。

会員に関する訃報の連絡を受けた場合は、地区医師会、出身大学同窓会等と連絡を取り規則に沿って対応しておりますが、土日祝祭日等に当該会員やご家族からの連絡がなく、本会並びに地区医師会等からの弔意を表せないことがあります。

本会の緊急連絡体制については、平日は本会事務局が対応し、土日祝祭日については、緊急電話にて受付しておりますので、ご連絡下さいますようお願い申し上げます。

- 平日連絡先：沖縄県医師会事務局  
TEL 098-888-0087
- 土日祝祭日連絡先：090-6861-1855
- 担当者 経理課：金城 直